

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立松江第六中学校

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の技術の原理・法則と仕組み ①情報の技術とは何だろう ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークの仕組み ④安全に利用するための情報モラル ⑤安全に利用するための情報セキュリティ ⑥情報の技術の工夫を読み取ろう	5	(1)生活や社会を支える情報の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 情報の表現, 記録, 計算, 通信の特性等の原理・法則と, 情報のデジタル化や処理の自動化, システム化, 情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	・情報の表現, 記録, 計算, 通信の特性等の原理・法則と, 情報のデジタル化や処理の自動化, システム化, 情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に情報の技術について考え, 理解しようとしている

<p>計測・制御のプログラミングによる問題解決</p> <p>①計測・制御システムとは何だろう</p> <p>②問題を発見し、課題を設定しよう</p> <p>③計測・制御システムを構想しよう</p> <p>④計測・制御システムのプログラムを制作しよう</p> <p>⑤問題解決の評価、改善・修正</p>	11	<p>(3)生活や社会における問題を、計測・制御のプログラミングによって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること</p>	<p>・計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。</p>	<p>・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</p>	<p>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</p>
<p>社会の発展と情報の技術</p> <p>①情報の技術の最適化</p> <p>②これからの情報の技術</p>	2	<p>(4)これからの社会の発展と情報の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p> <p>イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。</p>	<p>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。</p>	<p>・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</p>	<p>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</p>